水を仕事にする魅力、やりがい

技術力向上へ吸収の日々

三水コンサルタント
西日本事業本部 西日本事業部
技術第二部
田中 智大さん

■身近な水を仕事に

三水コンサルタントは社名が水道・下水道・工業用水道の三つの水に由来するように、水に関わる設計・計画を専門とするコンサルタント会社です。私は主に下水道管きょのストックマネジメント計画および耐震診断における基本設計・詳細設計を担当しています。

この会社に決めた理由は、インターンシップに参加した際、体験した業務内容に非常に興味を持ったことに加え担当者に丁寧に対応していただいたことです。インターンシップでは、業務遂行に必要な業務計画書の作成を手伝わせていただきました。担当者に、基礎から作成方法を教えていただき、作業を通して業務の全体像を知ることができました。その業務は非常にやりがいのある内容で、作業現場へ赴く姿を想像すると胸が高鳴る思いになったことを覚えています。

大学では、環境を専攻しました。それは子供の頃より自然の多い場所で育ち、その自然をもっと学びたいと考えたからです。都市化が進んだ現代社会の中、都市以外の地域にも目を向け、その人々のくらし、水環境を守っていく三水コンサルタントへの入社を決意しました。

■全員で技術力向上

私は入社1年目です。専門用語が多く使われる業務環境において、まだまだ分からないことばかりで同じ部署の先輩の指導を受けながら、とにかく勉強して知識を吸収する毎日です。日々大変ではありますが、インターンシップに参加した時と同様に先輩方に分からない箇所を聞くと、分かるまで親切に教えていただけます。

技術力の向上を目的に、社内勉強会に参加しています。その勉強会は、上司が出題する問題を解いていくというスタイルです。黙々と勉強し続けるというよりは、みんなでその問題について議論し、解答を作成します。入社1年目の私でも積極的に議論できる雰囲気のため、他の部署の方と交流を深めつつ、技術力を向上できる良い機会をいただいています。

現在は、技術士補の資格試験に向けて勉強しています。会社の多くの技術士から受験のアドバイスやコツを聞くことができ、先輩や同期の方とともに合格に向けて日々切磋琢磨しています。

■実際に会社を訪れて

私の大学生活の後半2年間は、研究室での実験以外はほとんどオンラインで過ごしました。だからこそ、就職活動では、インターンシップで実際に会社を訪れて、社員の方が実際に業務をしている様子やオフィスの雰囲気を肌で感じることができてよかったと今でも思います。就職活動をされている皆さんには、ぜひそういった機会で情報も得ながら、自分自身の働く姿のイメージを膨らませることを大事にしていただきたいと思います。

幅広さと先進性に魅力

水ingエンジニアリング
エンジニアリング本部総合提案営業統括部
ソリューション営業部
辻村 貴明さん

■鬼怒川で見たもの

平成27年秋、私が高校2年生の時に豪雨で堤防が決壊した鬼怒川のがれき回収のボランティアに参加しました。被災地では、「水」は生物の命を育むものですが、一方で多くの命を奪う、危険に晒すものにも変わるということを体感しました。そこから大学入学までは「水」による災害から人々の命を守る「治水」に興味を持ちました。

その後、大学へ進学しさまざまな講義を受ける中で、「水をきれいにすること＝浄化」に興味を抱き、水に関わる業界に就職したいと考えるようになりました。こうした中、水ingエンジニアリングを選んだ理由は、総合水事業会社の強みを生かした幅広い事業を手掛けており、国内初の官民連携事業といった新たなビジネスモデルを展開していることに魅力を感じたからです。

■エンドユーザー＝地域住民

現在入社2年目で、総合提案営業統括部ソリューション営業部に所属しています。1年目は日本下水道事業団（JS）の案件に携わっていたのですが、その際に初めての案件受注を経験しました。社を挙げて勝ち取った案件ということもあり、先輩たちの苦労を目の当たりにしていたころから、とても嬉しかったことを覚えています。

今年度からは、事業型案件をメインに、地方公共団体への提案営業などを行っています。仕事をする上では、「最終的なユーザーは地域の住民である」ということを忘れないようにしています。直接の営業相手は地方公共団体ですが、その先にはさまざまな地域に住む住民がいます。その住民が何を求めていて、どんなことをすれば生活の質が向上し、暮らしやすくなるのかを考えることがわれわれに求められている仕事だと思いますし、最終的に利益にもつながっていくと思います。

■当たり前を当たり前に

私が入社を決めた理由に、インターンシップの雰囲気が良かったという点もあるのですが、入社してからもその印象は変わらず、先輩たちはわからないことは優しく丁寧に教えてくれます。そして、自分の考えた提案についても、相談すれば背中を押してチャンスを与えてくれます。勤務地や職種によって異なりますが、在宅勤務や時差出勤など働きやすい環境も整っていると思います。

私は水業界に絞って就職活動をしましたが、学生の皆さんには、幅広い視野を持っていろいろな業界のインターンシップや説明会に参加することをおすすめしたいです。そして、いかに情報収集など当たり前のことを当たり前にできるかで、周りと差が開くと思います。当社グループで皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

丁寧な対話で信頼大切に

住友重機械エンバイロメント
機器設計部
谷本 礼佳さん

■コミュニケーションを丁寧に

住友重機械エンバイロメントは、水処理プラントの設計・施工や機械設備の納入・補修・運転管理などを幅広く担う"水処理のトータルソリューションカンパニー"です。「環境改善に携わりたい」と思いながら就職活動を進めていたところ、縁あって当社に入社し、今年で7年目になります。

入社後、3年目までは民間工場向け排水処理設備の設計やプロジェクト管理などを経験し、現在は自治体の下水道処理施設に納入する撹拌機や掻寄機、沈砂分離機などの設計に携わっています。エリアを問わず全国各地から受注した業務を幅広く担当しており、顧客との打ち合わせや現場対応、設備の工場検査などの出張が多いことは業務上の特徴と言えます。

設備の受注から納入に至るプロセスでは、顧客となる自治体や工場の方だけでなく、作図や据付などでご協力いただく企業の方など、多くの関係者と綿密に連絡・調整を重ねます。信頼関係を築くことがとても大切な仕事ですので、先方の特徴をよく覚えておくなど、丁寧なコミュニケーションを心掛けています。

■向上心を持って

自分が設計した設備が試運転で実際に動く姿を目にした瞬間や、顧客からの問い合わせを受けて駆け付けた現場でスムーズな対応ができた際にやりがいを感じます。一方で、技術不足が否めないことも自覚しており、勉強の日々です。技術士（国家資格）の資格取得が当面の目標です。機器設計部では新たな機械設備の開発も担当しており、チームに貢献できるよう、資格の勉強を通じてしっかりと知識を身に付けたいですね。

また、顧客が抱えている課題をより的確に汲み取ることができるよう、これまで以上に日頃のコミュニケーションを大切にしていけたらと思っています。

■働きやすい職場

当社には面倒見のいい人が多く、私も先輩方をはじめ多くの同僚に助けられています。入社当時、今より女性社員は少なかったのですが、近年は積極的に採用され、女性の技術者も増えています。男性の育休取得も可能となっており、男女問わず働きやすい仕組みが整っていると感じます。とはいえ、仕組み以上に周囲のサポートが重要だと思いますので、働きやすい職場づくりに努めるとともに、私自身も周りの同僚を手助けできるような存在になりたいです。

就活生の皆さんには「自分はどの業種に就きたいのか」「どのようなライフスタイルを望むのか」ということをよく考えて就職活動に励んでもらえたらと思います。その上で、当社を選んでいただけたら嬉しいですね。